

## 近畿ブロック合同青少年赤十字国際交流事業

8月16日(木)から22日(水)までの夏休みの期間中、近畿ブロック合同青少年赤十字国際交流事業が行われ、兵庫県支部からも2人のメンバーが参加。シンガポールでは同国のメンバーとの交流や、身体障害者施設、献血ルームの見学を。マレーシアでは同国赤新月社を訪問。また、ホームステイをするなど、貴重な経験をいっぱいしてこられました。

2人が経験してきた中から、施設見学についての報告をご紹介します。



浴衣姿で日本の紹介もバッチリ



シンガポールの学校を見学

兵庫県立龍野北高等学校 丸川友希

私が一番素敵だな、と思ったのは献血センターの待合室に設けていたパネルでした。

献血の回数ごとにランクがあり男性では50回で白の魚、75回で赤の魚、100回で黄色の魚、125回で銀の魚、150回で金の魚、200回で青の鯨。女性では35回で白の魚、50回で赤の魚、70回で黄色の魚、100回で銀の魚、125回で金の魚、150回で青の鯨になります。鯨の方は20名ほどしかおられませんでした。魚や鯨の身体の部分には一人一人名前が刻まれていて人々の命の救った証になっていました。

16歳から献血を始めたとしても鯨のパネルになるためには、男性で34年、女性で25年かかることになりました。献血センターの合言葉でもある「Give Blood. Save Lives」の象徴になっているような気がしました。

人の命を救いたい、誰かの役に立ちたいという気持ちを感じられるいい経験になりました。

親和中学校 藤原 夏美

私は国際交流に参加する前に、日本の高齢障害者施設に福祉体験学習として行って来ました。そこでは、基本とされるコミュニケーションの大切さ、目と目、心と心での会話が重要だということをとて思い知らされました。これは、国が違っていても同じだと思います。普段、海外の障害者の方と接する機会がないので、とても貴重な経験でした。自分の知識でしかなかったものが、実際どのように関わればよいのか、行ってみて実感出来ました。

「拘束」のようなことをされている方もいらっしゃいましたが、私は基本的にはやってはいけないと思います。人はみんな一生懸命生きているのだから、自由意思に基づく行動範囲を制限するのは良くないと思います。

これから、このことについて考えてより良い施設になればと強く願っています。そして、このような弱い立場の人間を救えるような施設が増えれば良いと思います。

# ひょうごの赤十字

2012 OCTOBER 10月

- ワールドファーストエイドデー
- 香美町赤十字奉仕団災害救護実践研修訓練
- 救護看護婦像に献花
- 平成24年度献血功労感謝のつどい
- 被災地宮城の学校へベルマークを送ろう!
- 近畿ブロック合同青少年赤十字国際交流事業
- 講習のご案内



## 講習のご案内 ~健康で安全な生活を送る知識と技術を~

もしもの時の病気やケガを手当する正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか?

日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るためのお手伝いをします。

講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

詳細及びその他の講習についてはホームページで。

[www.hyogo.jrc.or.jp](http://www.hyogo.jrc.or.jp)

赤十字 兵庫

検索

内容		開催日
救急法基礎講習		12月15日(土) 平成25年 1月12日(土)
救急法救急員養成講習(2日間)		12月 8日(土) 9日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(セット講習 3日間)		12月22日(土) 23日(日祝) 24日(月振) 平成25年 1月13日(日) 14日(月祝) 19日(土)
幼児安全法支援員養成講習(3日間)		平成25年 1月20日(日) 26日(土) 27日(日)
健康生活支援講習(3日間)		平成25年 2月14日(木) 21日(木) 28日(木)
科目別講習	健康生活支援講習	災害が起こった時、支援できること 12月13日(木) 10:00~12:00
	救急法	癒しの看護、やさしいスキンケア(リラクゼーション) 12月13日(木) 13:00~15:00
	救急法	さずの手当て 12月13日(木) 15:30~17:30

 日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号  
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990  
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

## ワールドファーストエイドデー

～いのちと健康を守るため、自分にもできること～

9月8日(土)、イオンモール姫路大津で「ワールドファーストエイドデー・キャンペーンイベント 知っていれば安心!心肺蘇生とAEDの使い方」を開催しました。

ワールドファーストエイドデーは、国際赤十字・赤新月社連盟が毎年9月第二土曜日をその日と定め、誰もが大切ないのちを守るように、世界各地で救急法の普及を行っています。

買い物客で賑わうイベント会場には、ホームページやチラシを見て来てくださるなど、小さな子どもたちから高齢の方まで、107人もの方に体験していただきました。

「AEDは職場に置いてあるのに、誰も使い方を知らないんです。」と言われた女性、「主人が倒れたら私が助けないと。」と参加された奥さま、皆さん熱心に心肺蘇生とAEDの使い方を身につけておられました。

家族に何かあったらと、体験された方が多く、大切な人たちの「いのち」を思う気持ちが伝わってくるイベントとなりました。



家族で力を合わせて人命救助



気道を確保して、人工呼吸も難しくないよ

## 香美町赤十字奉仕団災害救護実践研修訓練

9月9日(日)、香住文化会館(美方郡香美町)で、奉仕団員47名が参加し、香美町赤十字奉仕団災害救護実践研修訓練を開催しました。

同奉仕団の徳田委員長は開会に先立ち、「87年前には、北但大地震が発生し、各地で被害が起きたこともある。お昼前の11時11分に起こり、火災で多くの死傷者がでた。今後も養父断層帯をはじめとした地震が起こる可能性があるので、こういった訓練をしっかり行っていきたい。」と力強く述べられました。

今回の訓練では、負傷者を救護するための心肺蘇生訓練を始め、避難所で奉仕団活動を行うことを想定したワンタッチテントの設営訓練や、今年度新たに香美町分区に配備された大型の移動炊飯器を使っでの炊き出し訓練を実施。また、奉仕団員同士が災害時に連絡を密に取り合い、被災者への支援活動を円滑に行うための無線通信訓練も行いました。

いつ起こるかわからない災害に備え、団員の気持ちを一つにして熱心に取り組み、これまで繰り返してこられた訓練の成果に、より一層の磨きをかける訓練となりました。



大型炊飯器の使い方もシッカリと覚えしました



力を合わせれば、テントの設営も簡単

## 救護看護婦像に献花

～平和への誓いを新たに～

8月15日(水)、全国戦没者追悼式に合わせ、姫路赤十字病院で「救護看護婦像」への献花が行われました。

戦時救護のため、兵庫県支部からも812人が派遣され、28人が殉職。この看護婦像は、熾烈な戦火の中で負傷者の救護にあたられた看護婦の方々の功績をたたえとともに、御霊の安らぎと永遠の平和を祈念して建立されました。

医師や看護師、姫路赤十字看護専門学校の学生ら約40人が参列し、追悼の辞のあと全員で黙とう、代表者が花束を献花しました。

参列した看護学生は、「看護師として人を助けたいという気持ちがより強まった」と話しました。



平和を誓い、皆で献花

## 平成24年度献血功劳感謝のつどい

～輸血を必要とする患者さまのために～



献血の大切さを語った「誓いの言葉」

8月23日(木)「平成24年度兵庫県献血功劳感謝のつどい」が開催されました。この会は、献血推進のためにご尽力をいただいた団体、個人の皆さまに対して、敬意と感謝の意を込めて表彰をする集いで、今年度は約170の団体と7人の個人が受章。

当日は猛暑にも関わらず、多くの方々にご出席いただきました。金澤和夫兵庫県副知事、兵庫県支部藤原事務局長の挨拶に続き、感謝状等の伝達・贈呈が行われました。

その後、今回の受章団体の有馬町献血友の会の吉田佳展さん、神戸須磨ライオンズクラブの政田貞雄さんから、献血への取組みなどの発表があり、献血者を集める苦労話や失敗談など、活動中のエピソードを話され、会場は和やかな空気に包まれました。

最後は、兵庫県学生献血推進協議会々長の柘田文沙さんからの、力強い「誓いの言葉」で、感謝のつどいが締めくくられました。

## 被災地宮城の学校へベルマークを送ろう!



8月10日(金)、兵庫県立国際高等学校青少年赤十字部の1年生7人と、顧問の住野日出世先生が、ベルマークを贈呈するため、宮城県石巻市を訪問しました。

「高校生ができる被災者支援」として生徒たちが始めたベルマークの収集活動。第1次は4月に石巻市立大街道小学校へ届けられました。第2次となる今回は、海岸線からは少し離れた内陸部にある石巻市立蛇田中学校。兵庫県内の7校の協力を得て集められたベルマークは、生徒たちによって同中学校の生徒会4人に手渡されました。

被災地は、まだまだ瓦礫を撤去しただけの状態の地域が多く、新しい建物や道路も作られていません。実際に見た風景や、交流のある宮城県水産高等学校の生徒たちから聞いた話などから、今後も多様な支援が必要な事を、

先生も生徒たちも痛感しました。

今後さらに協力校を増やす工夫をするなどして、この「宮城県の学校にベルマークを送る」運動は続けられます。



みんなで集めたベルマーク。役立ててください